



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 ウェルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6556 URL <https://www.welbe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 千賀 貴生 (TEL) 03-6268-9542
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,028	—	1,110	—	1,118	—	728	—
2020年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 728百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	25.93	25.32
2020年3月期第2四半期	—	—

(注) 2020年3月期通期決算より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率並びに2020年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,914	4,088	83.2
2020年3月期	4,511	3,477	77.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,088百万円 2020年3月期 3,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.40	—	4.40	8.80
2021年3月期	—	4.70			
2021年3月期(予想)			—	9.80	14.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期末配当金の内訳 普通配当 4円80銭 記念配当 5円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(2020年11月13日)公表いたしました「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,838	14.0	1,952	11.1	1,950	11.0	1,328	13.1	47.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	28,383,000株	2020年3月期	27,825,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	129株	2020年3月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	28,111,493株	2020年3月期2Q	27,664,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2020年11月17日（火）に機関投資家及びアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、四半期決算発表と同時にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。

当社グループを取り巻く障害福祉業界においては、わが国の障害者の総数は936.6万人となり、障害者数全体は増加傾向にあります。障害福祉サービスの利用者も年々増加しており、最近1年間のサービス利用者数の伸び率は全体で6.1%となっております。このうち、当社グループの主なサービス対象である精神障害者の伸び率は8.8%、障害児の伸び率は11.0%であり、とりわけ高い伸び率となっております（厚生労働省「障害福祉分野の最近の動向」）。これらの増加傾向は中長期的に継続していくものと考えております。

当社グループは、このような事業環境のなか、就労移行支援事業においては全国規模で、また、療育事業においては首都圏及び近畿圏を中心に事業所の継続的拡大を進めております。また、新型コロナウイルスに対しては、「利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」（厚生労働省事務連絡）であり、感染症対策を徹底した上で、全ての事業所において営業を継続しております。

当第2四半期連結累計期間では、新たに就労移行支援事業所（ウエルビー）を3拠点、児童発達支援事業所（ハッピー）を1教室開設いたしました結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの拠点数は、就労移行支援事業（ウエルビー）が74拠点、療育事業では42拠点（ハッピーが25拠点、ハッピープラスが9拠点、アイリスクラブが8拠点）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高4,028,486千円、営業利益1,110,493千円、経常利益1,118,136千円、親会社株主に帰属する四半期純利益728,848千円となりました。

当社グループは、障害福祉サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,731,129千円（前連結会計年度末は3,352,506千円）で、前連結会計年度末に比べ378,623千円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金の増加247,930千円、売掛金の増加133,494千円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は1,183,815千円（前連結会計年度末は1,158,713千円）で、前連結会計年度末に比べ25,102千円増加しております。増加要因は、有形固定資産の増加44,205千円によるものであります。また減少要因は、無形固定資産の減少8,458千円、投資その他の資産の減少10,644千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は760,856千円（前連結会計年度末は940,526千円）で、前連結会計年度末に比べ179,669千円減少しております。主な減少要因は、賞与引当金の減少103,248千円、1年内返済予定の長期借入金の減少53,317千円、未払法人税等の減少36,404千円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は65,556千円（前連結会計年度末は93,043千円）で、前連結会計年度末に比べ27,487千円減少しております。主な減少要因は、社債の減少14,200千円、長期未払金の減少11,123千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,088,532千円(前連結会計年度末は3,477,649千円)で、前連結会計年度末に比べ610,883千円増加しております。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加728,848千円等によるものであります。また減少要因は、配当の支払いによる利益剰余金の減少122,429千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2,284,394千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は590,159千円となりました。

これは主に、収入として税金等調整前四半期純利益1,113,469千円、減価償却費57,286千円、支出として売上債権の増加133,494千円、法人税等の支払による支出377,552千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は135,960千円となりました。

これは主に、新規事業所開設等に伴う有形固定資産の取得による支出92,089千円、敷金及び保証金の差入による支出35,393千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は206,268千円となりました。

これは主に、支出として長期借入金の返済による支出54,197千円、長期未払金の返済による支出15,011千円、配当金の支払122,409千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛要請や休校措置をうけ、第1四半期については例年よりも稼働率は低く推移し、第2四半期以降は感染拡大が収束し例年並みの稼働率に戻っていくものと仮定して算定しておりました。

実際は、外出自粛要請等の影響で事業所に通所する利用者数は若干の減少が見られたものの、行政からオンライン支援が認められたことによって、結果、利用者数は例年よりも増加し、当第2四半期連結累計期間における業績は予想を上回る水準で推移いたしました。

連結業績予想につきましては、現時点において変更はありませんが、すでに稼働率は例年並みに戻っており、また再度の外出自粛要請等が実施された場合でもオンラインの利用を促すことによって、第3四半期以降についても利用者数は堅調に推移していくものと考えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036,464	2,284,394
売掛金	1,241,615	1,375,110
貯蔵品	13,179	6,766
その他	61,847	65,458
貸倒引当金	△601	△601
流動資産合計	3,352,506	3,731,129
固定資産		
有形固定資産	576,035	620,240
無形固定資産		
のれん	87,439	82,955
その他	33,680	29,705
無形固定資産合計	121,119	112,661
投資その他の資産	461,557	450,913
固定資産合計	1,158,713	1,183,815
資産合計	4,511,219	4,914,945
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	28,400	28,400
1年内返済予定の長期借入金	79,958	26,641
リース債務	7,622	3,712
未払金	125,152	130,720
未払法人税等	410,360	373,956
賞与引当金	174,949	71,701
その他	114,083	125,726
流動負債合計	940,526	760,856
固定負債		
社債	72,200	58,000
長期借入金	880	—
リース債務	1,283	—
長期未払金	18,679	7,556
固定負債合計	93,043	65,556
負債合計	1,033,569	826,412

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,287	335,519
資本剰余金	330,287	332,519
利益剰余金	2,814,236	3,420,655
自己株式	△167	△167
株主資本合計	3,477,643	4,088,526
新株予約権	6	6
純資産合計	3,477,649	4,088,532
負債純資産合計	4,511,219	4,914,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,028,486
売上原価	2,381,620
売上総利益	1,646,865
販売費及び一般管理費	536,372
営業利益	1,110,493
営業外収益	
受取利息	354
助成金収入	6,524
その他	2,800
営業外収益合計	9,680
営業外費用	
支払利息	742
固定資産除却損	1,288
その他	6
営業外費用合計	2,037
経常利益	1,118,136
特別損失	
減損損失	4,667
特別損失合計	4,667
税金等調整前四半期純利益	1,113,469
法人税、住民税及び事業税	342,685
法人税等調整額	41,935
法人税等合計	384,620
四半期純利益	728,848
親会社株主に帰属する四半期純利益	728,848

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	728,848
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	728,848
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	728,848
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,113,469
減価償却費	57,286
減損損失	4,667
のれん償却額	4,484
賞与引当金の増減額(△は減少)	△103,248
受取利息	△354
支払利息	742
売上債権の増減額(△は増加)	△133,494
前払費用の増減額(△は増加)	△3,504
未払金の増減額(△は減少)	△837
未払費用の増減額(△は減少)	4,529
預り金の増減額(△は減少)	3,250
その他	21,197
小計	968,186
利息の受取額	4
利息の支払額	△479
法人税等の支払額	△377,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	590,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△92,089
敷金及び保証金の差入による支出	△35,393
敷金及び保証金の返還による収入	2,669
長期前払費用の取得による支出	△11,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△54,197
長期未払金の返済による支出	△15,011
リース債務の返済による支出	△4,914
社債の償還による支出	△14,200
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,464
配当金の支払額	△122,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,268
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247,930
現金及び現金同等物の期首残高	2,036,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,284,394

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、障害福祉サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルスの感染拡大防止の会計上の見積りに与える影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。